

令和5年度 市民意識調査報告書

令和6年3月
佐倉市

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

佐倉市では、将来都市像「笑顔輝き 佐倉 咲く みんなで創ろう『健康・安心・未来都市』」の実現に向けて、「市民協働の加速化、持続可能なまちづくり」、「健康寿命の延伸・生涯活躍の場の創出」、「子育て世代の流入・定住促進、子育て支援施策等の維持拡充」、「計画的な施設・インフラ整備の推進、持続可能な財政運営」を重点目標として掲げ、様々な事業に取り組んでいる。

本市民意識調査は、佐倉市の取組に対する市民の皆様からの率直なご意見等をお聞かせいただき、施策の実施・評価の参考とすることにより、行政サービスの向上を行うとともに、将来都市像の実現を図るために実施したもの。

(2) 調査の設計

調査地域	佐倉市全域
調査対象	市内在住の 18 歳以上の男女
調査種類	A 票: 市民相談、防災、健康づくり、都市計画・公共交通、道路環境、環境保全、公園・緑地整備 B 票: 子育て支援、学校教育、スポーツ振興、青少年健全育成、高齢者福祉、生涯学習 C 票: 情報発信・共有、広聴、平和・国際化、資産管理、文化・芸術振興、観光振興、商工業振興、農業振興、地域福祉、地域コミュニティ ※各調査の共通設問: 回答者の属性、施策の重要度・満足度、市政に関する自由意見等
対象者数	A～C票それぞれ 1,400 名(合計 4,200 名)
抽出方法	住民基本台帳から無作為抽出 (令和5年3月末時点の地区別人口構成比と市全体年齢別人口構成比を参考に、男女別(1:1)に住民基本台帳から無作為抽出)
調査方法	郵送配布、郵送回答・電子回答(ちば電子申請サービス)
調査期間	令和5年7月18日～8月21日

(3) 配布・回収結果

調査の種類	配布数	有効回収数 (うち電子回答数)	有効回収率 (うち電子回答率)
A 票	1,400 枚	385 (78)	27.5% (20.3%)
B 票	1,400 枚	312 (67)	22.3% (21.5%)
C 票	1,400 枚	418 (128)	29.9% (30.6%)
合 計	4,200 枚	1,115 (273)	26.5% (24.5%)

(4) 居住地区区分

この調査での佐倉市内の地区区分は、下記・下図のとおりである。

1. 佐倉地区 2. 志津北部地区(※) 3. 志津南部地区(※) 4. 臼井地区、
5. 根郷地区 6. 弥富地区 7. 和田地区 8. 千代田地区

※ 志津北部地区: 上座、小竹、小竹干拓、青菅、先崎、先崎干拓、井野、井野町、宮ノ台1～6丁目、ユーカリが丘1～7丁目、南ユーカリが丘、西ユーカリが丘1～7丁目

※ 志津南部地区: 上志津、上志津原、下志津、下志津原、中志津1～7丁目、西志津1～8丁目



(5) その他

構成比は四捨五入したことにより合計が 100%にならないことがある。

記述式の回答については、個人名等の記載は修正している。

2. 主な調査結果

調査対象・回収結果

- 調査対象者： 4,200 名（市内在住の 18 歳以上の男女）
- 調査期間： 令和5年7月18日～8月21日
- 調査方法： 郵送配布、郵送回答・電子回答（ちば電子申請サービス）
- 調査対象者の抽出方法： 無作為抽出（令和5年3月末時点の「地区別人口構成比」と市全体の「年齢別人口構成比」を参考に住民基本台帳から無作為抽出）
- 回収結果： 1,115 名（回収率 26.5%）
（令和4年度：30.4%、令和3年度：34.1%、令和2年度：37.2%、令和元年度：31.6、平成 30 年度：26.9%）
- ・ 年齢別の回収率では、70～79 歳が 35.9%と最も高く、また、年齢が上がるごとに高くなっている。

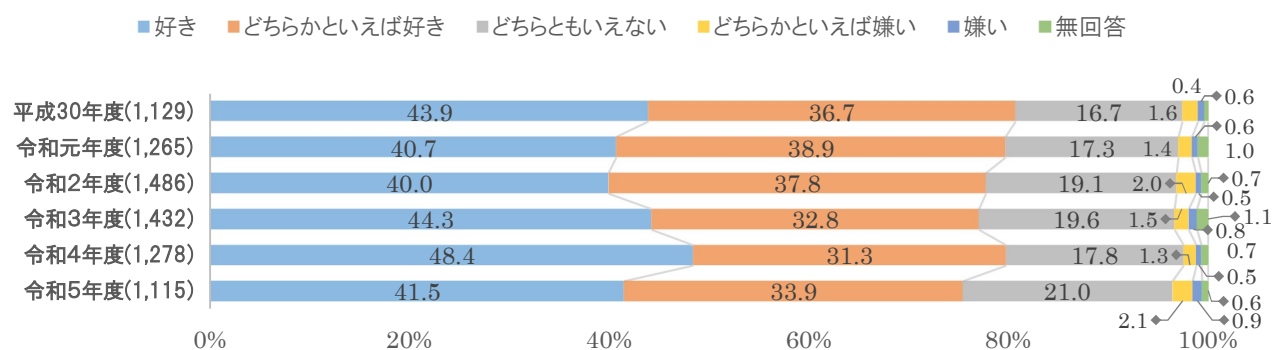
年齢	送付数	回答数	回収率（%）
18～29 歳	546	80	14.7
30～39 歳	498	106	21.3
40～49 歳	734	165	22.5
50～59 歳	800	194	24.3
60～69 歳	706	95	32.7
70～79 歳	916	150	35.9
無回答	—	10	—
合計	4,200	1,115	26.5

- ・ 地区別の回収率では、佐倉地区が 41.5%と最も高い。

地区	送付数	回答数	回収率（%）
佐倉地区	686	285	41.5
臼井地区	726	176	24.2
志津地区	1854	440	23.7
根郷地区	610	139	22.8
和田地区	38	7	18.4
弥富地区	34	7	20.6
千代田地区	252	48	19.0
無回答	0	13	—
合計	4,200	1,115	26.5

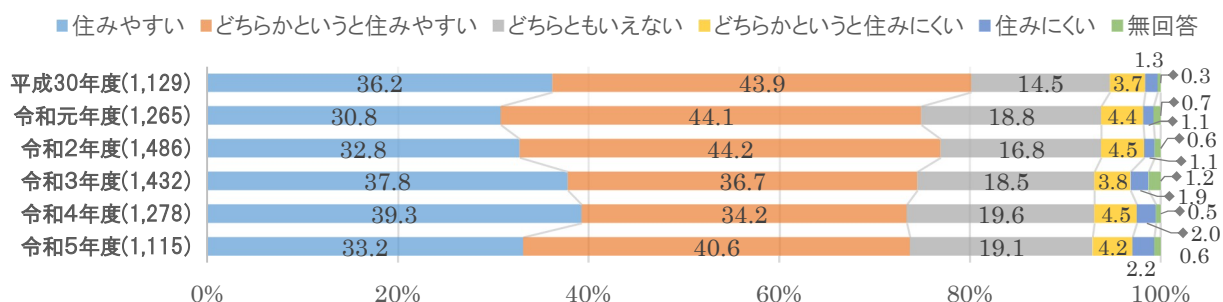
「佐倉市が好きですか」(問 11)について

○ 経年比較すると、佐倉市を「好き」又は「どちらかといえば好き」と答えた方の割合は、令和4年度を除き微減傾向にある。



「佐倉市の住み心地をどのように感じますか」(問 12)について

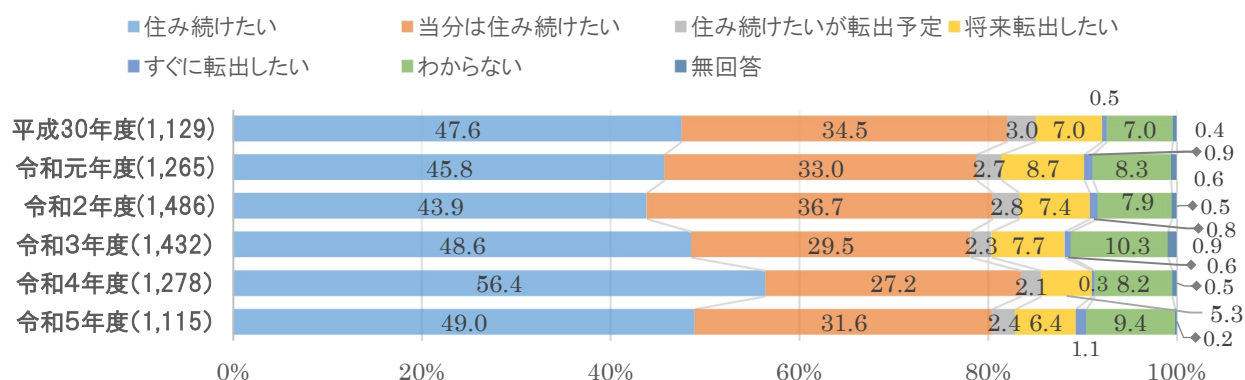
○ 経年比較すると、佐倉市を「住みやすい」又は「どちらかというに住みやすい」と答えた方の割合は概ね微減傾向にある。



「今後も佐倉市に住み続けたいですか」(問 13)について

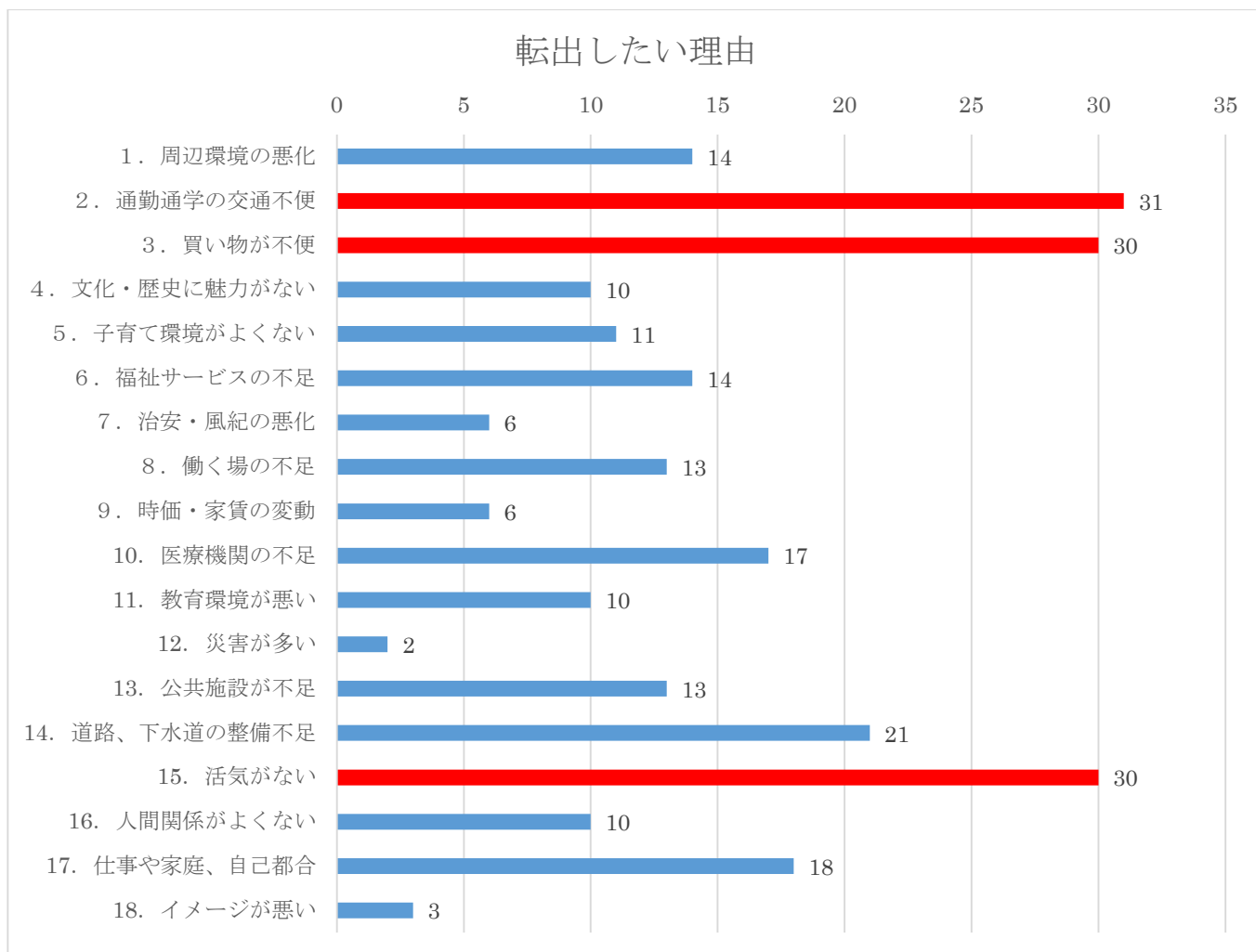
○ 経年比較すると、佐倉市に「住み続けたい」又は「当分は住み続けたい」と答えた方の割合は概ね横ばい傾向にある。

○ その中で「住み続けたい」と答えた方の割合は令和2年度以降概ね増加傾向にある。



○ 問 13「今後も佐倉市に住み続けたいですか」において、「将来転出したい」「すぐに転出したい」と回答された方々の主な転出したい理由としては、自己都合による転出以外では、「通勤通学の交通不便」、「活気がない」、「買い物が不便」となっている。

○ 昨年度と比較し、「文化・歴史に魅力がない」、「道路、下水道の整備不足」が特に増加した。



佐倉市に不満を持っている方について(問 2・6・11・12・13)

○ 佐倉市に対して不満を持っている又は不満を持っている可能性のある方(問 11・12・13 において非ポジティブな回答をされている方)は 50～59 歳に多い。

○ 30～39 歳、60～64 歳は、いずれの問いに対しても、回答者の年齢構成比より非ポジティブな回答をしている方の割合が高い。(赤字:回答者の年齢構成比より割合が高いところ)

問11～13における非ポジティブ回答の整理

問 2. 年齢		問 6. 職業		問11非ポジ回答※1		問12非ポジ回答※2		問13非ポジ回答※3	
年代	割合	分類	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1. 18～29歳	7.2%	3. 会社員等勤め人(役員、正社員)	3.2%	8	3.0%	9	3.2%	9	4.8%
		4. 契約/派遣社員・パート・アルバイト	0.8%	4	1.5%	3	1.1%	4	2.1%
		5. 公務員・団体職員・教員	0.6%	1	0.4%	3	1.1%	2	1.1%
		6. 家事専業	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.5%
		7. 学生・予備校生	1.8%	0	0.0%	1	0.4%	4	2.1%
		8. 無職・年金生活者	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.5%
		9. 無回答	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.5%
		小計	7.2%	13	4.9%	16	5.6%	22	11.7%
2. 30～39歳	9.5%	2. 自営業・個人事業主	0.3%	1	0.4%	2	0.7%	0	0.0%
		3. 会社員等勤め人(役員、正社員)	5.1%	19	7.1%	17	6.0%	12	6.4%
		4. 契約/派遣社員・パート・アルバイト	1.6%	4	1.5%	3	1.1%	4	2.1%
		5. 公務員・団体職員・教員	1.3%	4	1.5%	3	1.1%	1	0.5%
		6. 家事専業	0.9%	3	1.1%	5	1.8%	1	0.5%
		8. 無職・年金生活者	0.3%	1	0.4%	1	0.4%	2	1.1%
		小計	9.5%	32	12.0%	31	10.9%	20	10.6%
3. 40～49歳	14.8%	2. 自営業・個人事業主	0.7%	1	0.4%	1	0.4%	1	0.5%
		3. 会社員等勤め人(役員、正社員)	6.5%	16	6.0%	21	7.4%	14	7.4%
		4. 契約/派遣社員・パート・アルバイト	3.9%	11	4.1%	12	4.2%	8	4.3%
		5. 公務員・団体職員・教員	1.3%	1	0.4%	3	1.1%	1	0.5%
		6. 家事専業	1.5%	5	1.9%	4	1.4%	3	1.6%
		8. 無職・年金生活者	0.5%	1	0.4%	4	1.4%	1	0.5%
		9. 無回答	0.3%	0	0.0%	1	0.4%	1	0.5%
		小計	14.8%	35	13.1%	46	16.1%	29	15.4%
4. 50～59歳	17.4%	2. 自営業・個人事業主	0.8%	2	0.7%	3	1.1%	1	0.5%
		3. 会社員等勤め人(役員、正社員)	7.1%	16	6.0%	17	6.0%	15	8.0%
		4. 契約/派遣社員・パート・アルバイト	5.8%	20	7.5%	18	6.3%	16	8.5%
		5. 公務員・団体職員・教員	1.3%	2	0.7%	3	1.1%	1	0.5%
		6. 家事専業	1.5%	5	1.9%	6	2.1%	5	2.7%
		8. 無職・年金生活者	0.6%	1	0.4%	1	0.4%	2	1.1%
		9. 無回答	0.3%	0	0.0%	1	0.4%	1	0.5%
		小計	17.4%	46	17.2%	49	17.2%	41	21.8%
5. 60～64歳	8.5%	2. 自営業・個人事業主	0.4%	2	0.7%	4	1.4%	2	1.1%
		3. 会社員等勤め人(役員、正社員)	2.3%	4	1.5%	4	1.4%	5	2.7%
		4. 契約/派遣社員・パート・アルバイト	2.3%	7	2.6%	8	2.8%	4	2.1%
		5. 公務員・団体職員・教員	1.0%	3	1.1%	4	1.4%	1	0.5%
		6. 家事専業	1.4%	4	1.5%	5	1.8%	3	1.6%
		8. 無職・年金生活者	1.0%	5	1.9%	6	2.1%	3	1.6%
		小計	8.5%	25	9.4%	31	10.9%	18	9.6%
6. 65～69歳	12.2%	2. 自営業・個人事業主	1.1%	2	0.7%	2	0.7%	2	1.1%
		3. 会社員等勤め人(役員、正社員)	1.2%	5	1.9%	5	1.8%	2	1.1%
		4. 契約/派遣社員・パート・アルバイト	3.0%	14	5.2%	13	4.6%	6	3.2%
		5. 公務員・団体職員・教員	0.5%	1	0.4%	1	0.4%	0	0.0%
		6. 家事専業	0.9%	2	0.7%	3	1.1%	1	0.5%
		8. 無職・年金生活者	5.5%	15	5.6%	14	4.9%	8	4.3%
		小計	12.2%	39	14.6%	38	13.3%	19	10.1%
7. 70～74歳	16.1%	1. 農林水産業	0.1%	1	0.4%	1	0.4%	1	0.5%
		2. 自営業・個人事業主	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		3. 会社員等勤め人(役員、正社員)	0.4%	2	0.7%	2	0.7%	1	0.5%
		4. 契約/派遣社員・パート・アルバイト	2.0%	3	1.1%	3	1.1%	0	0.0%
		5. 公務員・団体職員・教員	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		6. 家事専業	1.6%	5	1.9%	4	1.4%	2	1.1%
		8. 無職・年金生活者	11.5%	22	8.2%	21	7.4%	12	6.4%
		9. 無回答	0.2%	1	0.4%	0	0.0%	1	0.5%
		小計	16.1%	34	12.7%	31	10.9%	17	9.0%
8. 75歳以上	13.5%	1. 農林水産業	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		2. 自営業・個人事業主	0.4%	1	0.4%	1	0.4%	2	1.1%
		3. 会社員等勤め人(役員、正社員)	0.4%	1	0.4%	1	0.4%	0	0.0%
		4. 契約/派遣社員・パート・アルバイト	0.4%	5	1.9%	3	1.1%	0	0.0%
		5. 公務員・団体職員・教員	0.1%	1	0.4%	1	0.4%	0	0.0%
		6. 家事専業	0.9%	0	0.0%	1	0.4%	1	0.5%
		8. 無職・年金生活者	11.0%	31	11.6%	32	11.2%	18	9.6%
		小計	13.5%	39	14.6%	39	13.7%	21	11.2%
9. 無回答	0.9%		0.9%	4	1.5%	4	1.4%	1	0.5%
総計	100.0%		100.0%	267	100.0%	285	100.0%	188	100.0%

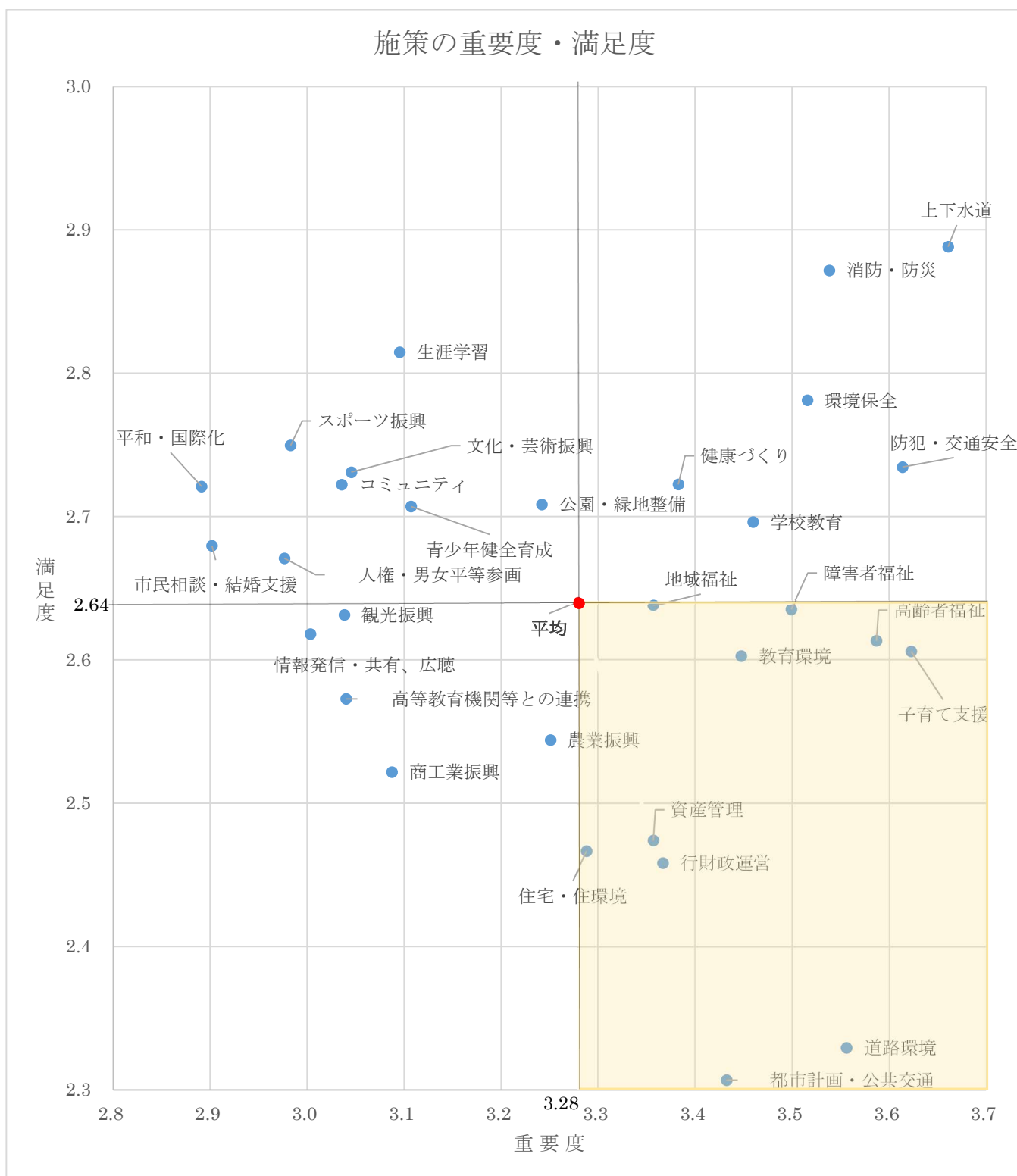
※1:問 11「佐倉市が好きですか」において「どちらともいえない」「どちらかといえば嫌い」「嫌い」の合計

※2:問 12「佐倉市の住み心地をどのように感じますか」において「どちらともいえない」「どちらかという住みにくい」「住みにくい」の合計

※3:問 13「今後も佐倉市に住み続けたいですか」において「将来転出したい」「すぐに転出したい」「わからない」の合計

佐倉市が実施している施策の重要度と満足度について

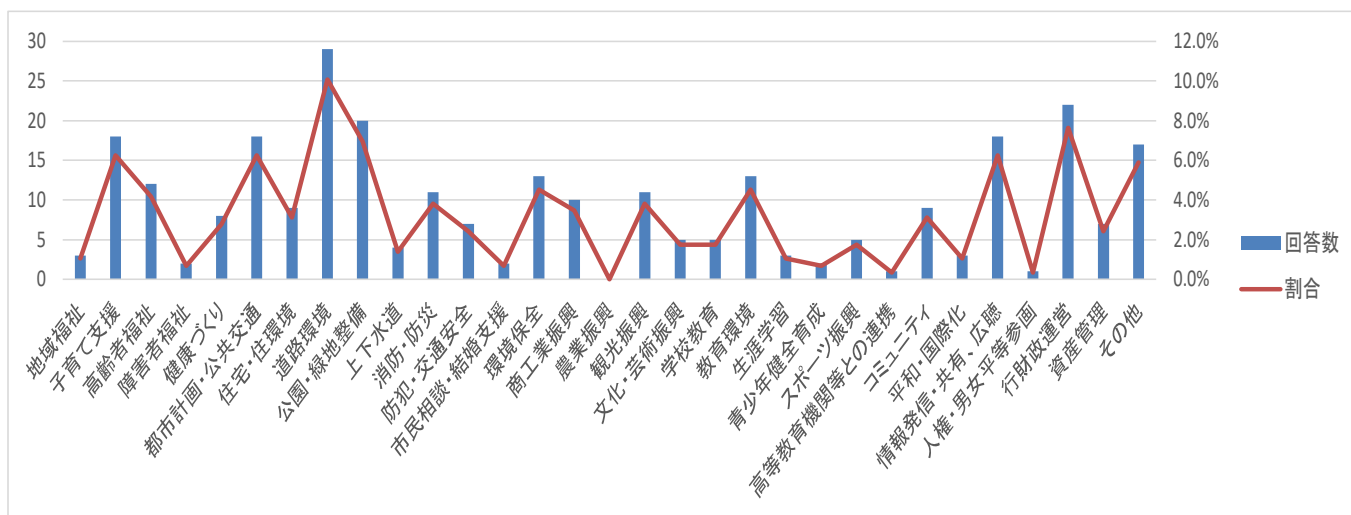
- 各施策の重要度と満足度の平均値を比較して、「上下水道」、「消防・防災」、「環境保全」、「防犯・交通安全」は重要度・満足度ともに高い回答となっている。
- 一方で、「道路環境」、「都市計画・公共交通」、「行財政運営」、「資産管理」は重要度が高いのに満足度は低いと回答されている。



自由記述欄について

- 自由記述欄には 175 名の方から意見があった。
- 記述内容を以下のとおり分野別に分類した。
- 最も記述の多かった分野は「道路環境」で、「行財政運営」、「公園・緑地整備」と続いた。
- 昨年度と比較し、特に意見の割合が減少した分野は「観光振興」(令和 4 年度:8.5%)で、特に意見の割合が増加した分野は「公園・緑地整備」(令和 4 年度:3.6%)、「子育て支援」(令和 4 年度:3.3%)であった。

分野	回答数	割合
地域福祉	3	1.0%
子育て支援	18	6.3%
高齢者福祉	12	4.2%
障害者福祉	2	0.7%
健康づくり	8	2.8%
都市計画・公共交通	18	6.3%
住宅・住環境	9	3.1%
道路環境	29	10.1%
公園・緑地整備	20	6.9%
上下水道	4	1.4%
消防・防災	11	3.8%
防犯・交通安全	7	2.4%
市民相談・結婚支援	2	0.7%
環境保全	13	4.5%
商工業振興	10	3.5%
農業振興	0	0.0%
観光振興	11	3.8%
文化・芸術振興	5	1.7%
学校教育	5	1.7%
教育環境	13	4.5%
生涯学習	3	1.0%
青少年健全育成	2	0.7%
スポーツ振興	5	1.7%
高等教育機関等との連携	1	0.3%
コミュニティ	9	3.1%
平和・国際化	3	1.0%
情報発信・共有、広聴	18	6.3%
人権・男女平等参画	1	0.3%
行財政運営	22	7.6%
資産管理	7	2.4%
その他	17	5.9%
合計(回答者重複あり)	288	100.0%



※自由意見の集計にあたり回答者に複数分野の意見があった場合には可能な限り分類した。